

十一・二全国労働者総決起集会 五七〇〇の団結で改憲・戦争の安倍政権打倒！

十一月二日に全国労働者総決起集会が東京の日比谷野外音楽堂で開催されました。

十一月二日に全国労働者総決起集会が東京の日比谷野外音楽堂で開催されました。我が支部からも新人を含めた十五名で参加しました。



した。

集会が始まる前に韓国で起きた「セウオル号惨事」で亡くなった方々に黙祷を捧げました。

そして集会が始まり、最初に集会を呼びかけた三労組の各代表が発言しました。

全国金属機械労組港合同の中村委



員長は、「国鉄一〇四七名解雇撤回闘争に勝利しなければ不当労働行為は、やりたい放題になる」と述べ、国鉄闘争全国運動が今日まで国鉄闘争を継続してきたことの意義を強調しました。

全日建連帯労組関西生コン近畿地本の西山書記長は「安倍政権に対し労働者の団結力を見せつけないければならない。ともに団結し勝利しよう」と訴えました。

動労千葉の田中委員長は「一〇四七名解雇撤回を勝ち取り、国鉄分割民営化に決着をつける。JRの外注化、非正規職員の攻撃を粉砕する。安倍を打倒し戦争への道を止める」と鮮明な決意を述べられました。

次に韓国とアメリカから連帯の発言がありました。

まず韓国から駆けつけた二七人の労働者が壇上

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

に並びました。
民主労総ソウル地域本部のイヒョンチョル副本部長は、「セウオル号惨事は資本の貪欲が生んだ人災、虐殺だ」と弾劾し真相究明を求める遺族をも弾圧するパククネ政権への怒りをあらわにしました。



韓国・民主労総の代表団

アメリカ・ロサンゼルス統一教組(UTLA)のセシリーマイアトクルズ副委員長は、闘わない前労組執行部を打倒して執行部を握った闘いの教訓を語り、「組合をつくり変えて教育民営化と対決する中で市教育長を辞任に追い込んだ」と報告されました。



アメリカ・UTLAの仲間

次に現場から熱い闘いの報告がありました。
東京西部ユニオン鈴木コンクリート工業分会の吉本書記長は、三年に及ぶ闘いの末に「解雇撤回、現職復帰」を勝ち取り「労働組合に団結して闘えば勝てる」と言う事なんだと力強く言い放ちました。
高槻・植木団地労組の松村委員長は、「去年十一月二十九日に高槻市が下した一方的な植木団地追い出し通告により若者は不安を募らせ仕事を辞める者も出た、また仕事に出てこない若者もいる。安倍政権による集団的自衛権行使容認により社会

は一変し国や政府に衝突く者は追い出し、労働者の団結を破壊している。安倍政権の政策方針を見抜き深い憤りを感じ植木団地は闘争に立ち上がった。安倍政権を打倒して、植木団地を絶対に守っていく」と発言した。
集会の最後に、金本山の長谷さんによる団結力



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!



日比谷野外音楽堂からデモ行進を行うデモ隊

ンパロー、動労西日本の大江委員長によるインターナショナルを歌い、集会が終わり、安倍打倒のコールを響かせて新橋から、銀座、東京駅の都心までデモに出ました。

右翼の妨害を乗り越え沿道からは熱い視線が注がれ声援が送られて、デモも無事に貫徹しました。我が支部からも今回、新入組合員二名が参加して、いい勉強が出来たのではないだろうかと思えました。

昌一金属支部 ○

編集委員会より年末恒例のお願い

2014年も早いものであと数週間という時期になりました。

この1年も、港合同各支部・分会の組合員の皆さんに様々なご支援・ご協力をいただき、毎月の定期発行を行うことができました。ありがとうございました。

毎年この時期恒例ですが、2015年の「新年の抱負・決意」の各支部・分会原稿をお願いします。文字数に制限はありません。一言二言からOKです!

■締切 2015年1月6日(火)

■送付先 昌一金属支部(手渡しの場合は、編集委員まで)

※※必ず原稿を提出してください。よろしくお祈いします!!

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!